



令和3年11月29日

## 研究主題 「学ぶこと・考えることを楽しむ」

～自分の考えをもち広げ深める力の育成：「考えの形成」を促す指導法の工夫～



今年度二回目の校内研究授業が行われた。教科は算数。3年2組山口拓哉教諭が『ぼうグラフと表』、4年2組濱崎ひかる教諭が『変わり方調べ』を材とした授業を行った。

山口教諭の授業には、ジャンケンゲームで勝ったときにもらえるカードの枚数を数える際に、これまでの学びを生かす仕掛けが施されていた。授業で用いたカードは色と動物の絵という、二つの要素をもっている。例えば、「緑色できり

ん」のカードの枚数をすぐに知るためにはどのように整理をすればよいのか、それが子どもたちにとっての問いとなった。子どもたちは、これまでの学びを思い起こして二次元表にまとめることができた。協議会で授業者は、「子どもたちは表にすることができていた。けれども、もっと表の利便性に気づかせたかった」と振り返った。そのための手立てや声かけについて、同人で検討をした。



濱崎教諭は貯金箱の中に入っている100円玉の枚数を知りたいが、貯金箱から100円玉を出すことができない、どうしたらよいかを問いとした授業を行った。子どもたちは「先生のために！」と情熱を燃やして課題に取り組んだ。「重さ」に着目をした子どもたち。全体の重さから缶の重さを引けば、中に入っている100円玉の総量がわかった。それを100円玉一枚の重さで割ることで、子どもたちは100円玉の枚数を求めることができた。「既習事項

の表にまとめることへ、もっと子どもたちが思考を向けるにはどうしたらよいか」という授業者の振り返りが協議会での話題の中心となった。

「授業・人」塾代表・田中博史先生を講師としてお招きし、授業と協議会の指導・講評をいただいた。田中先生からは、授業づくりとともに、校内研究会や協議会をより充実させていくことに、今後つながっていくであろう多くのご指導とご示唆をいただいた。今回教えていただいたことの中から、同人一人一人が必要だと考えることを選択し、実践をしていきたい。

